

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：アジア・アフリカの水と衛生 ILAS Seminar: Introduction to Water, Sanitation and Hygiene in Asia and Africa			担当者所属 職名・氏名	アジア・アフリカ地域研究研究科 准教授 原田 英典		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	6(6)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	稲盛財団記念館3階323号室(原田研究室)(医・薬・病院構内)		使用言語	日本語	
キーワード	飲料水 / トイレとサニテーション / 手洗い / 環境 / 健康						
【授業の概要・目的】							
<p>安全な飲料水，トイレとし尿の始末（サニテーション），および手洗いをはじめとした衛生習慣は「水と衛生」としばしばまとめられ，持続可能な開発目標（SDGs）のゴール6にも挙げられる社会的な課題となっています。本セミナーでは，水と衛生がいかにしてグローバル・イシューとなっていたのかを振り返り，アジア・アフリカ地域での水と衛生の実情を紹介しつつ，水と衛生と健康との関わり，環境との関わり，社会との関わり，そしてそれらの相互の関わりについて考察します。また，水を介した環境と社会との関わりは，日本においても今なお重要な課題であることを学び，琵琶湖疏水を利用するユニークな水循環の中にある京都を事例に，水と衛生に関わる野外巡見を行います。これらを通じて，アジア・アフリカ地域を「水と衛生」という視点から考察できるようになることを目指します。</p>							
【到達目標】							
<p>アジア・アフリカ地域の水と衛生の課題の現状を理解する。 水と衛生と，健康，環境，社会との関わりを理解する。 アジア・アフリカ地域の多様な課題を「水と衛生」という視点から考察できるようになる。</p>							
【授業計画と内容】							
第1回 4/13（月）5限 オリエンテーション							
第2回 4/20（月）5限 水と衛生とは							
第3回 4/27（月）5限 水と衛生と健康							
第4，5，6，7，8回 5/16（土）1，2，3，4，5限 京都近郊の水循環に関する野外巡見							
第9回 5/18（月）5限 水と衛生と環境							
第10回 5/25（月）5限 水と衛生と社会							
第11回 6/1（月）5限 水と衛生の実践							
第12回 6/29（月）5限 発表に向けてのガイダンス							
第13回 7/6（月）5限 学生発表会							
ILASセミナー：アジア・アフリカの水と衛生(2)へ続く							

ILASセミナー : アジア・アフリカの水と衛生(2)

第14回 7/13 (月) 5限 学生発表会

第15回 7/27 (月) 5限 フィードバック

授業の進捗等に合わせて内容を適宜変更する可能性がある。

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

セミナーでの質問や討議内容などを通じて、理解度や積極性を評価します。詳細は授業中に説明します。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

(参考書)

山内太郎・中尾世治・原田英典 編著 『総論 サニテーション学の構築』(北海道大学出版会, 2022) ISBN:978-4-8329-2951-7

原田英典・山内太郎 『サニテーションと健康』(北海道大学出版会, 2023) ISBN:978-4-8329-2954-8

(関連URL)

<https://wash.africa.kyoto-u.ac.jp/>(担当教員HP)

【授業外学修(予習・復習)等】

セミナーで話題とした内容について、参考書や別途指示する情報をもとに理解を深め、次回以降のセミナーでの討議を深める一助とする。

【その他(オフィスアワー等)】

担当教員のももとの専門分野は環境衛生工学ですが、セミナーでは学際的な討議を行います。アジア・アフリカの水と衛生、水環境や廃棄物問題などに興味があり、文系から理系にまたがる幅広い知的好奇心のある学生の参加を歓迎します。

セミナー中の実習活動のため、学生教育研究災害傷害保険(学研災)等に参加しておいってください。見学の際の交通費(京都市内移動程度)は受講者自身の負担でお願いします。

【主要授業科目(学部・学科名)】